

萩博覧会案内

附萩史蹟名所案内



Y606

07  
2



# 萩博覽會案内

附萩史蹟名所案内

萩史蹟産業大博覽會

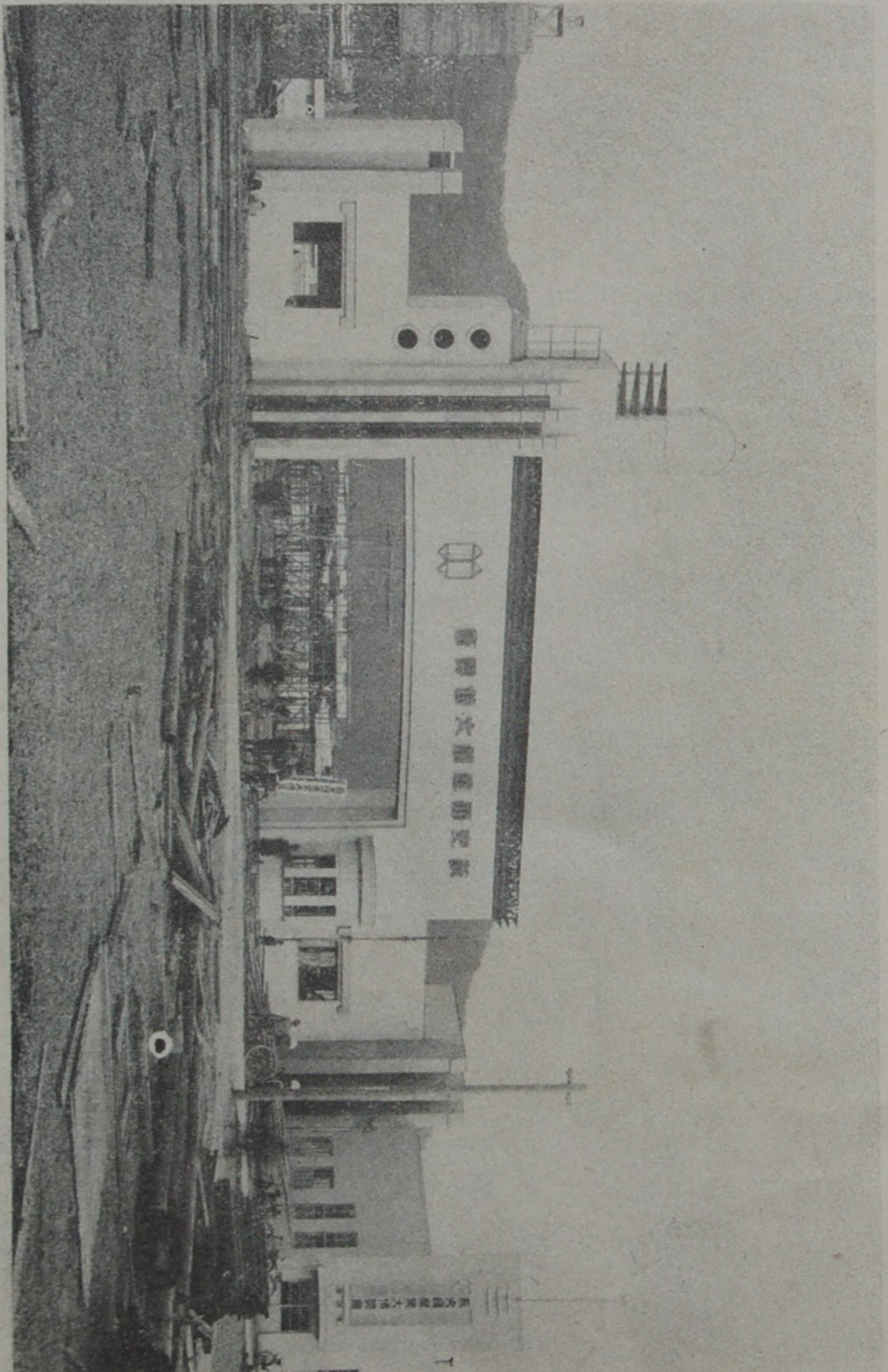


33765

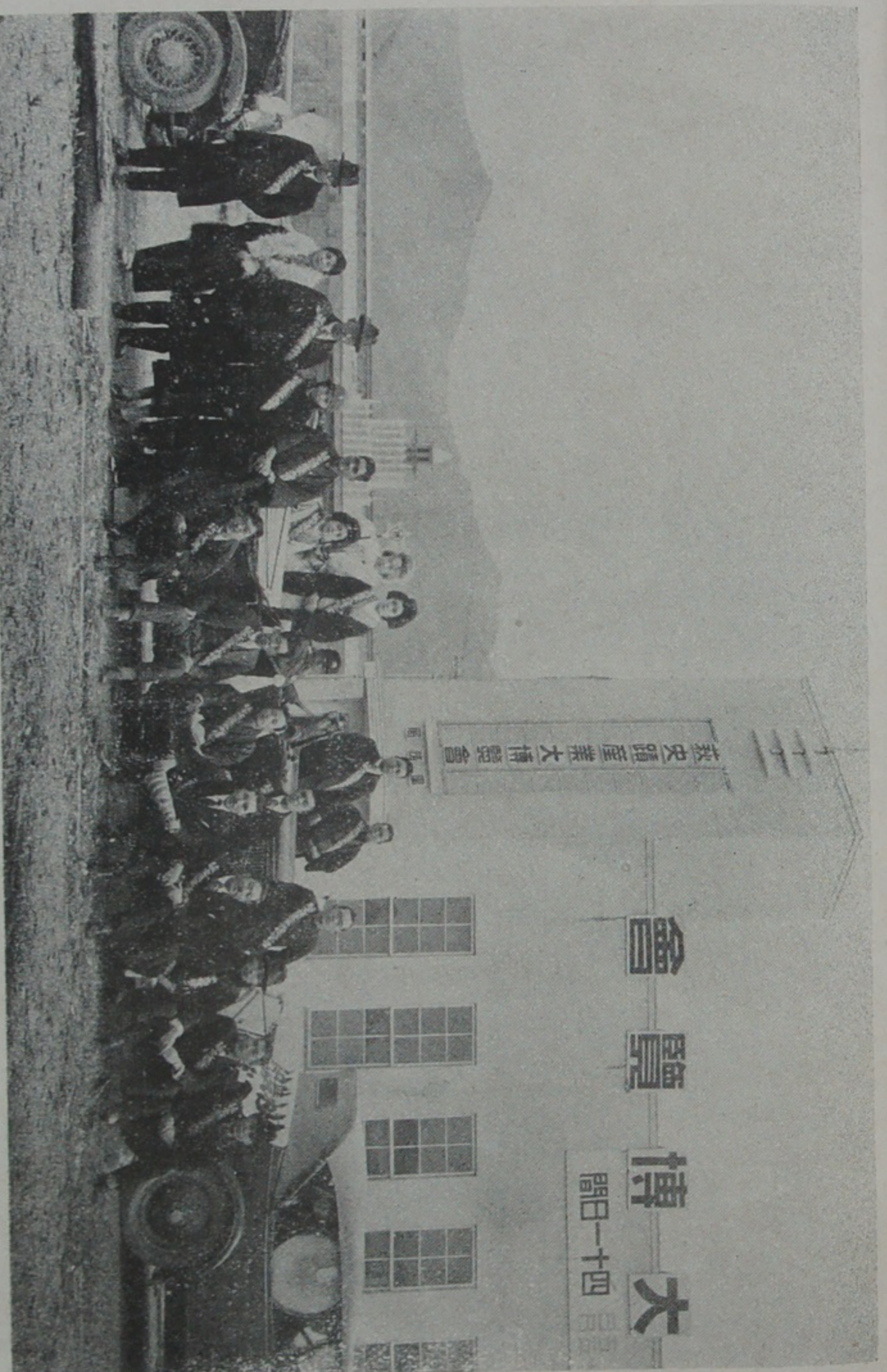
萩市立図書館

萩市立図書館

1934年  
十月  
十日



秋史蹟産業大博覽會場全景



景ノ傳大覽博



長 市 萩 田 豊 裁 總 副



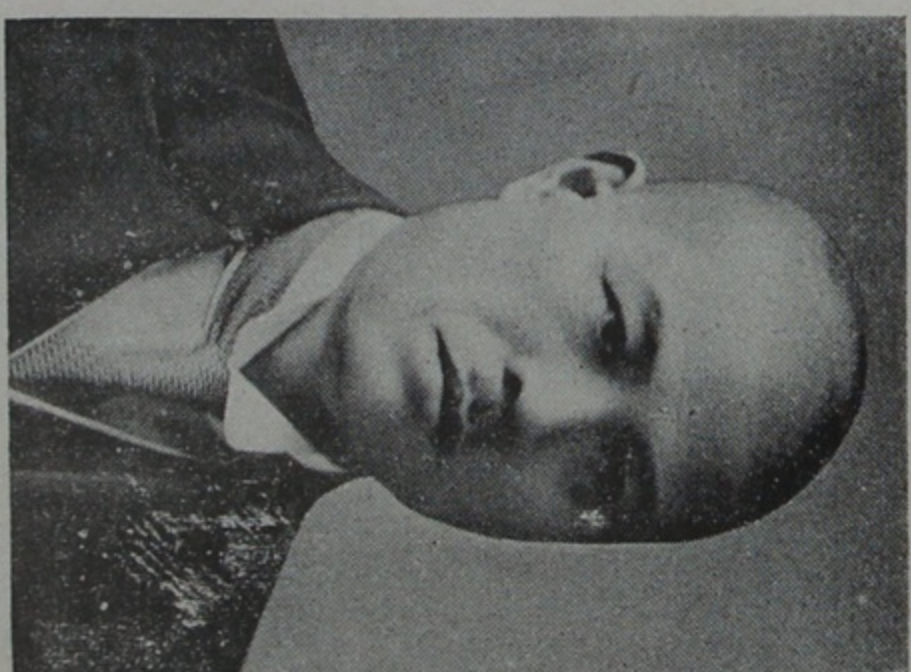
下 閑 事 知 山 菊 裁 總



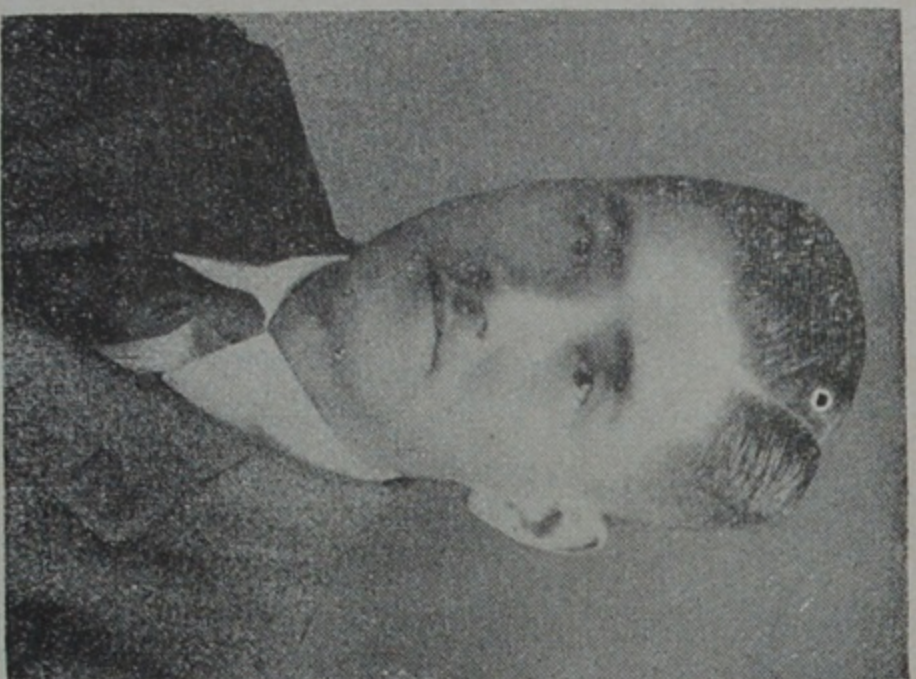
長 部 濟 經 井 川 裁 總 副



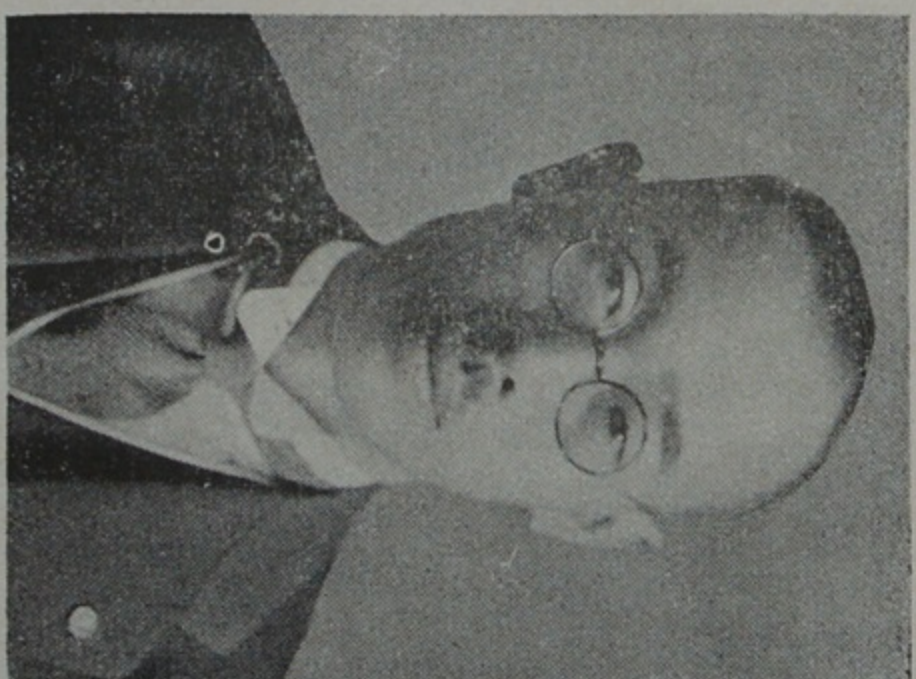
氏二清中田長會副



氏吉常東厚長會



氏介景藤伊 長務事

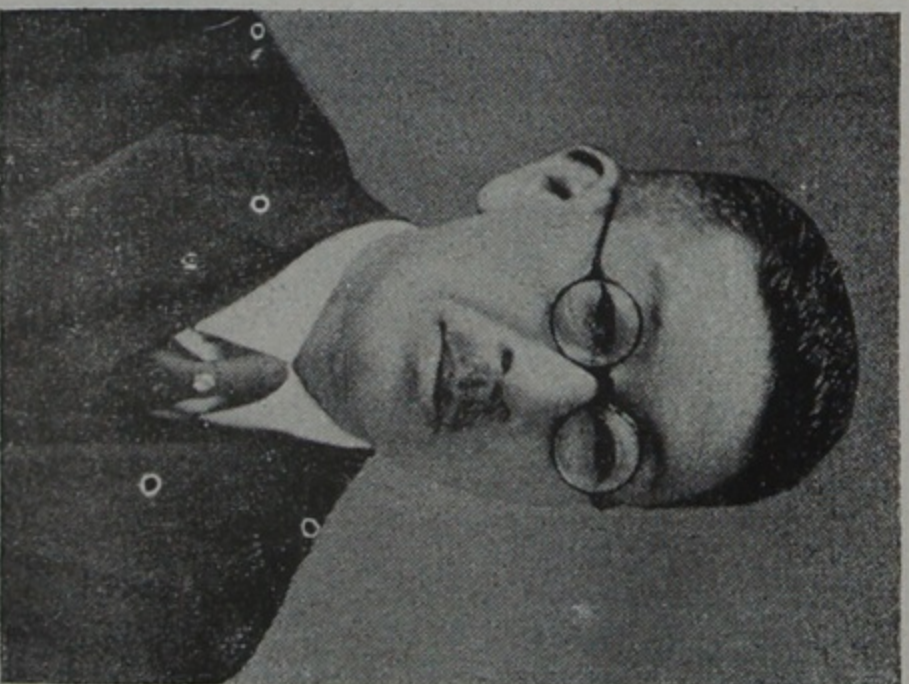


氏一信阪田 長總務事

嗎託 渡會絹三郎氏 (寫真未着)

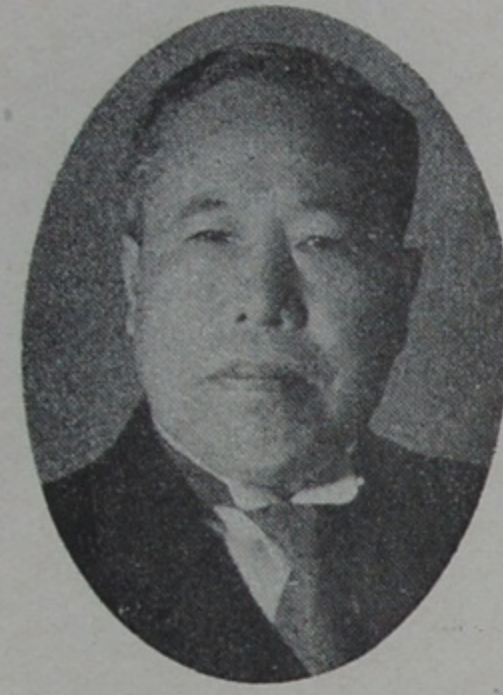


嗎託 有吉福一氏



嗎託 德田龍太氏





氏作郎五藤齋 事理



氏太馬木八 事理



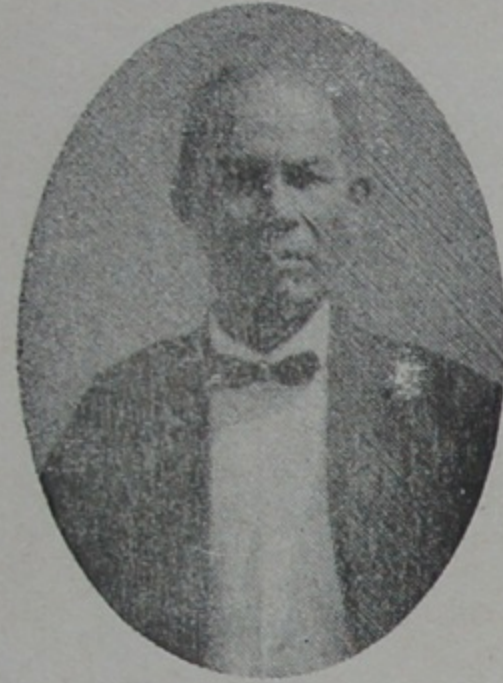
氏郎三卯本松 事理



氏郎次源川谷長 事理



氏一盛村野 事理



氏熊虎中田 事理



氏吉龜村中 事理



氏吉小田津 事理



氏介專中田 事理



氏夫信石白 事理

市制三周年  
記念 萩史蹟産業大博覽會長

萩實業會長 厚 東 常 吉

趣 意 書

此の地、毛利輝元公開府以來星霜三百年、一大雄藩の城下として、勢望自から天下に重きを爲し、殊に古來上下一致して王事に勤勞し其の精忠日月と光を争ふものあり、一度國難に際會するや、卒先大義を唱道し、克く王政復古の大業を翼賛し、以て維新發祥の地たるの名を成すに至れり。

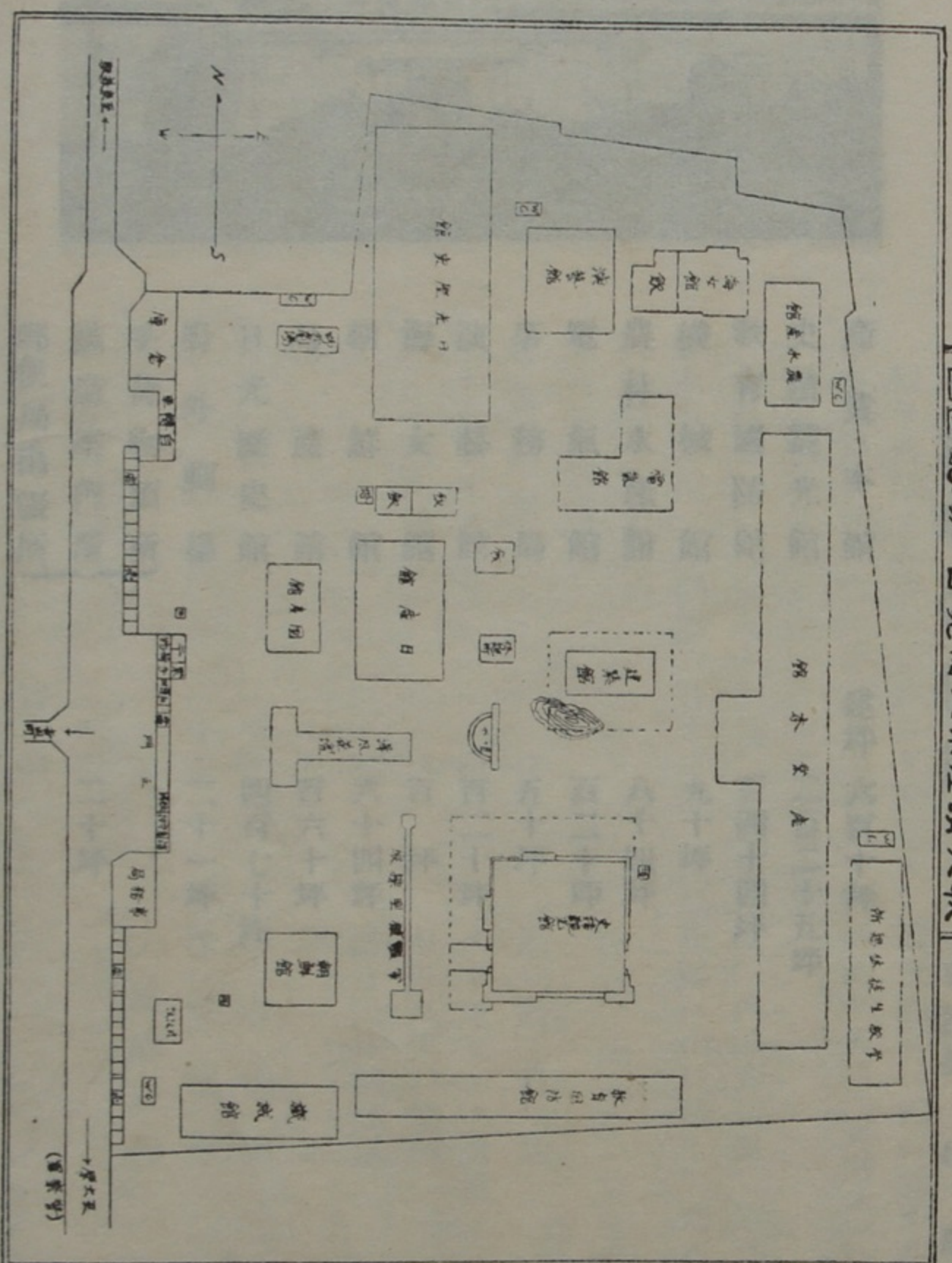
爾來茲に七十年、四方の山河依然として舊觀を改むるなく、志士活躍の跡歴々として今尙存す、指月の城壁は苔蒸して勤王の歴史を傳へ、菊ヶ濱の殘壘は草深くして女人の意氣を偲ばしむ、明倫館趾を訪ひては防長文華の淵源を探るべく、松下村塾を尋ねては國士の義烈に襟を正さざるものあらざるべし、其他遺物遺蹟市内隨所に洽く一木一石殆ど懷古の料たらざるはなし。

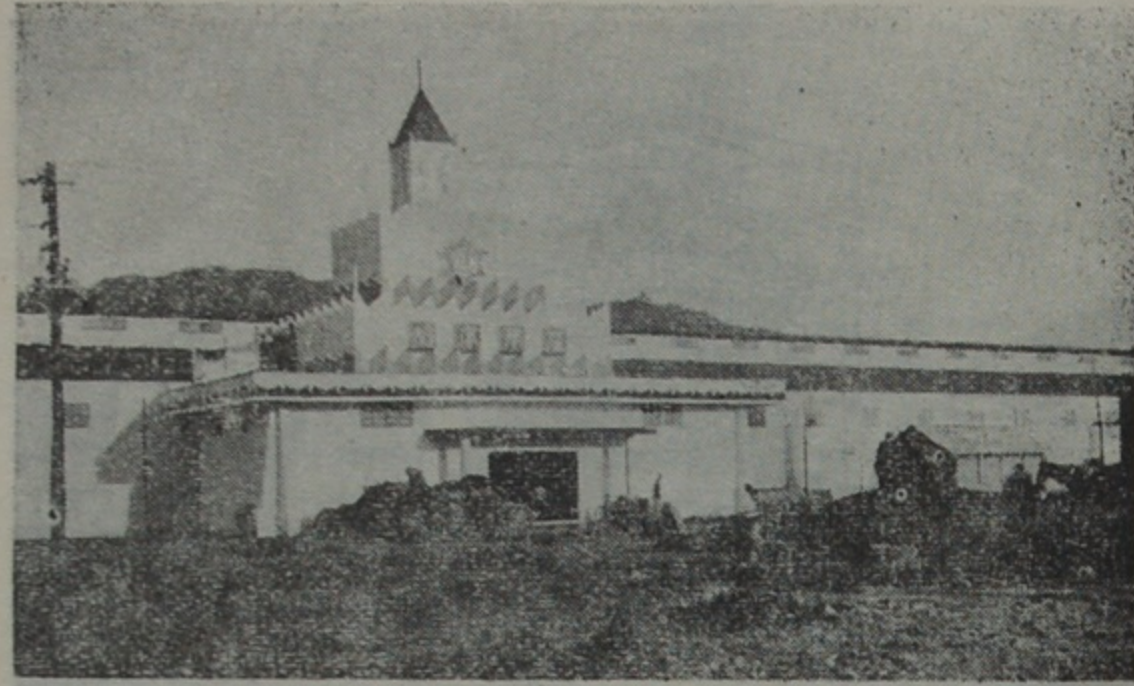
現時我國は内外極めて非常重大の秋に際す、我が國民たるもの誰か義勇奉公の精神を發揚し以て邦家の隆運に貢獻せむことを期せざるものあらむや、而も其の克く斯の如きは、親しく先哲の遺蹤を繹ね深く其の靈感に接し至誠感格自ら憤起するに如くものあるべからず、是れ茲に博く此の史蹟を紹介し本博覽會を開

設せる理由の第一なり翻つて考ふるに、此の地は東亞大陸の一葦帯水の關係にあり、彼我の交通自ら其の最捷の位置を占む、加ふるに海に港灣の修築あり大船の來り泊するに適し、陸に山陰の鐵路東西を貫き運輸の便備はらざるなし、而して今や、滿洲新國家の興隆を前にし雄基港の出現を控へ、本市將來の繁榮實に刮目して待つべきものあらむとす、況んや此の地は内に地力の豊沃なるあり、海に河に、野に山に、無盡の富を藏し、殖産興業の適地たるに於てをや、誰か來つて此の地位を利用し此の寶庫を開拓せざるものぞ、好機再び來り難し、唯徒に拱手傍觀すべき秋にあらざるなり。

輓近我國は海外貿易に著しき活況を呈し、天涯地角到る處我が國產の進出を見ざるはなし、而も其の克く此の趨勢を將來に持續し益々國富の増進を庶幾するの途は一に地方の開発を圖り、國內産業の振興に努力するの外あるべからず、是れ吾人が奮然として茲に本博覽會の開催を提唱せる理由の第二なり。時は恰も春光駘蕩として櫻花爛熳の好季節に會す、視察に見學に將遊覽に裨益する所必ずや多大なるものあるを疑はず庶幾くは大方諸賢斯の由緒ある土地に於て斯の特色ある本會を企圖せる趣旨を賛し其の目的の達成に甚大の御援助を賜はらむことを。

圖 配場々會覽博大業蹟史我

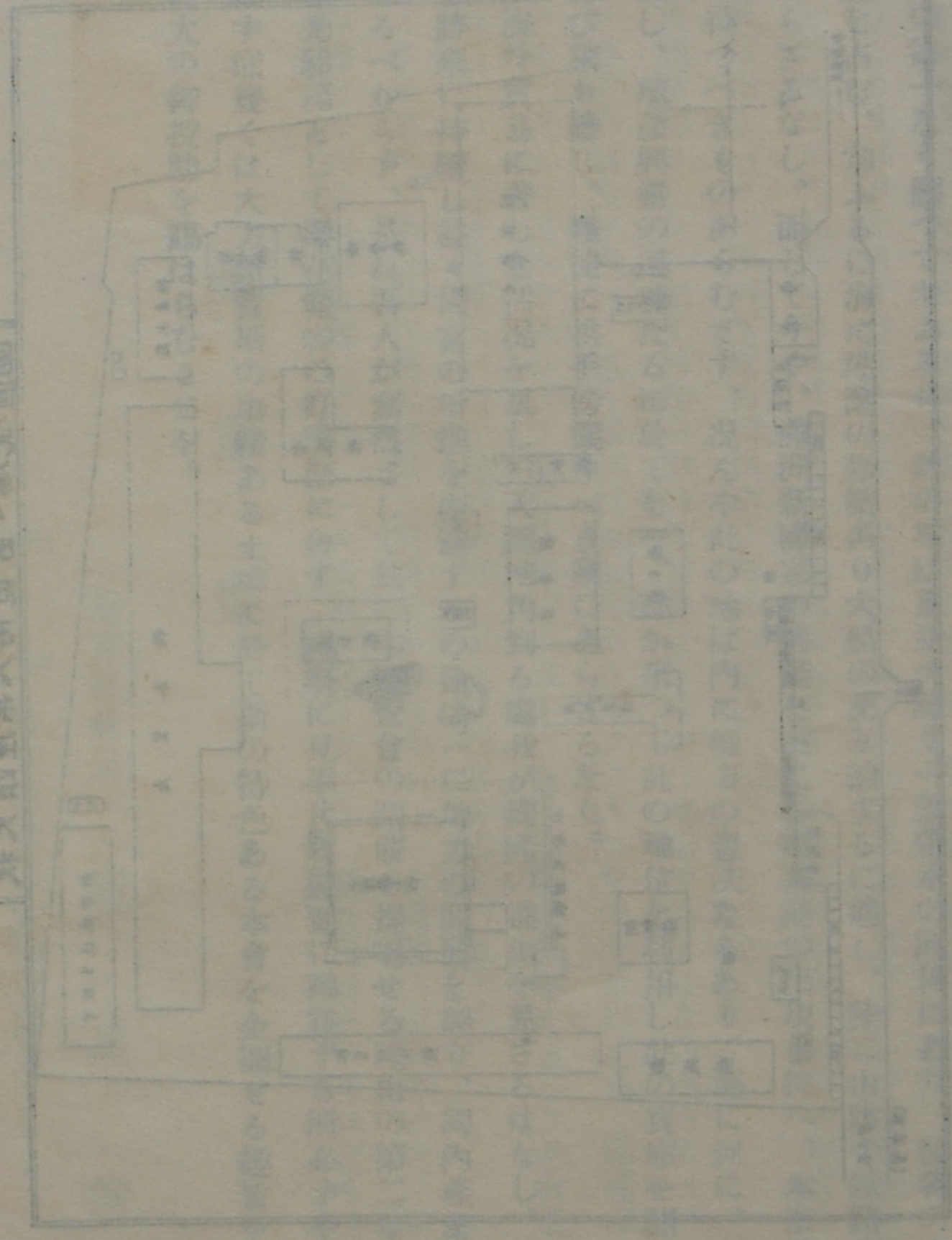


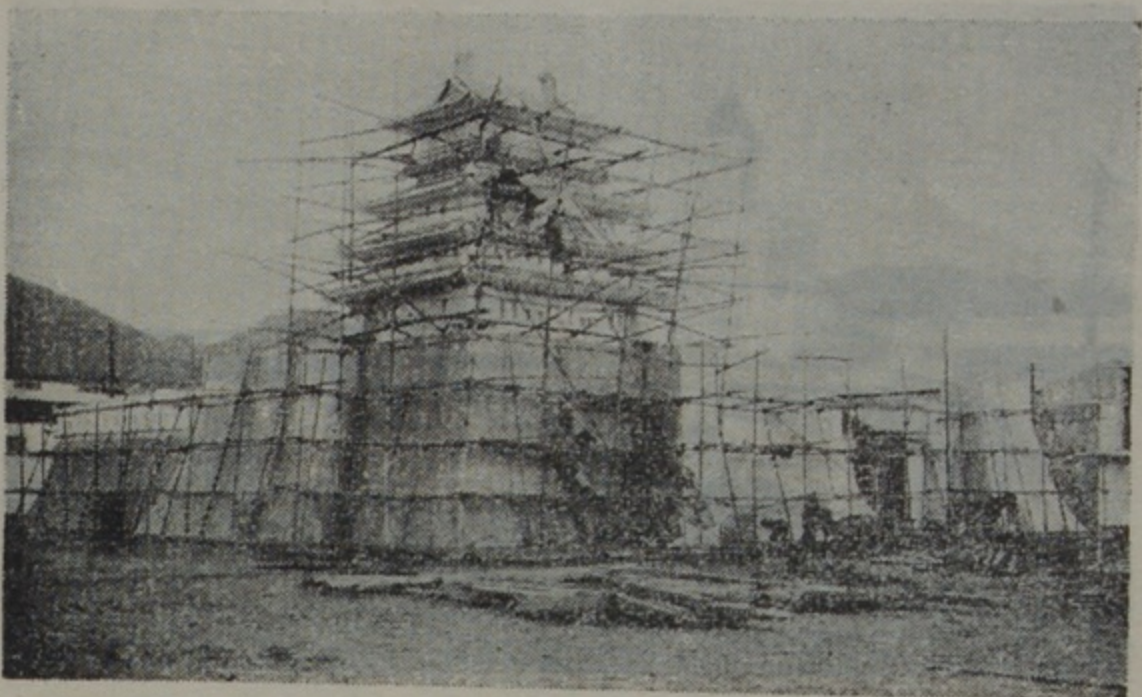


會場の機構

事務長 伊藤 景介

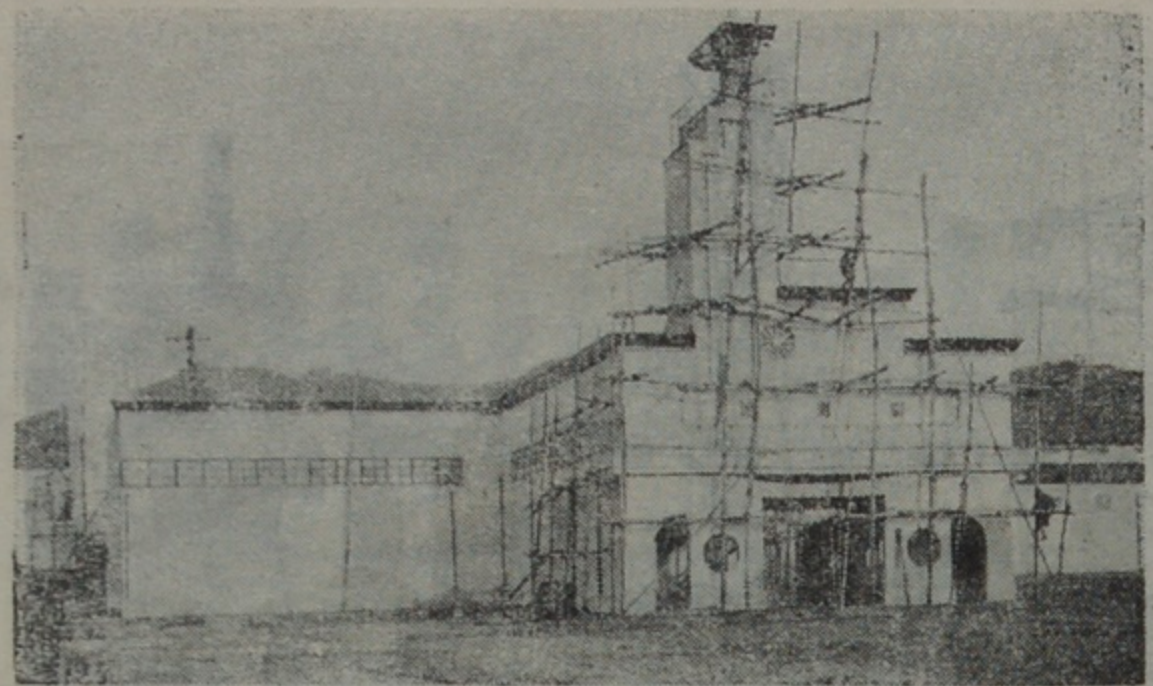
産業本館	建築坪六百十坪
史蹟觀光館	二百二十五坪
教育國防館	百四十四坪
機械館	九十坪
農林水産館	八十四坪
電氣館	百二十坪
事務局	五十坪
演藝館	百二十坪
海女館	百坪
朝鮮館	六十四坪
日産館	百六十坪
日光歴史館	四百七十坪
野外劇場	二百二十一坪
手荷物預所	二十坪
鐵道案内所	二十坪
郵便局出張所	二十坪
國産館	六十坪





建築館 五十坪  
 生徒休憩所 百坪  
 軍艦模型操縦所 一ヶ所  
 正門 一ヶ所  
 守衛詰所 一ヶ所  
 救護所 一ヶ所  
 消防所 一ヶ所  
 賣店 三十軒  
 郷土土産品即賣店 一軒  
 サクラビール食堂 一軒  
 水産品賣店 一軒  
 萩蒲鉾組合賣店 一軒  
 其他廣告塔休憩所 數軒  
 産業本館 小間數六百十小間  
 各府縣市、日本赤十字社、大阪營林局、内閣資源局、宇品陸軍糧秣支廠、廣島陸軍兵器支廠、日本産業協會等  
 史蹟觀光館 吉田松陰先生事蹟十四場面ヲ人形(實物大)パノラマ式裝置ヲ以テ表顯シ各場面説明人ヲ配置ス、觀光部ニハ山口縣下名勝地ヲ同ジクパノラマ裝置ヲ以テ表セリ、觀光地帯左ノ如シ

岩國錦帯橋、八代ノ鶴、室積灣、防府天滿宮、山口市、秋芳洞、青海島長門峽、須佐灣、萩市



教育國防館 館内ヲ三部ニ分テ國防參考部、美術部、學童成績品部トシ國防參考部ニハ陸海軍部ヨリ軍事參考品トシテ陸軍側ヨリ第五師團司令部、廣島陸軍兵器支廠、廣島陸軍被服支廠、宇品陸軍糧秣廠等、海軍側ヨリハ吳鎮守府、廣島海軍工廠、海軍兵學校、海軍機關學校等ヨリノ出品多數アリ、美術部ハ縣下美術家作品日本畫、洋畫、彫刻等ノ展覽及縣下各女學校美術工藝品ヲ出陳シ學童成績品部ニハ山口縣、廣島縣、島根縣、福岡縣、大分縣下小學兒童書方圖畫ノ作品ヲ陳列ス

機械館 新潟鐵工所ヲ始メ農業機械其他多數ノ機械類ヲ陳列實演ヲナス

農林水産館 縣農務課、林務課、水産課、縣農會、縣水産會、防長木炭組合、山口購買販賣組合聯合會、萩市水産物、鹿兒島水産會、其他各縣水産加工品、大日本蠶糸會、山口縣養蠶組合等ヨリ農林水産品ノ出品ヲ陳列ス

電氣館 山口縣電氣局ニ於テ全國各地ヨリ電氣工業品ノ粹ヲ取纏メ出品アリ

朝鮮館 朝鮮總督府ヨリ朝鮮各道ノ特産品ヲ取集メ陳列スルト共ニ即賣品ヲ設ケ特價ヲ以テ即賣ス

日産館 日本産業株式會社ヨリ傍系各會社ノ優秀ナル製産品ヲ出品ス



- ◇演藝館 連日藝題ヲ更ヘタル演藝ヲナシ土曜、日曜、祭日、ニハ巴城祭番藝妓ニヨリ新萩小唄二番及長唄小鍛冶ノ出演アリ
- ◇海女館 三重縣鳥羽ニ於ケル妙齡ノ海女三名ニヨリ眞珠貝採集ノ實況ヲ大水槽内ニテ實演ス
- ◇日光歴史館 敬神會主催ノ下ニ日光東照宮全貌模型(縮尺十分ノ一)ニヨリ實景サナガラノ場面ヲ展覽セシム、其他日本歴史上特筆スベキ場面數十場面ヲジオラマ式装置ニヨリ展覽セシム
- ◇野外劇場 珍妙ナル演藝 眞面目ナル演藝ヲ連日差更ヘ公開演藝ス
- ◇軍艦模型操縦所 大阪伊藤金二郎氏苦心ノ製作ニ成ル模型軍艦數隻即チ三笠、愛宕、陸奥、神通、薄雲、潜水艦、艦載水雷艇、英國ロドネー、米國サラトガ等ヲ電氣裝置ニヨリ運轉實演觀覽セシム
- 觀覽時間 午前八時ヨリ午後五時マデ 夜間開場ノ場合ハ午後六時ヨリ全九時マデ 但シ時宜ニ依リ短縮スルコトアルベシ
- 觀覽料金 晝間一般三十五錢、夜間十八錢、現役軍人及十二歳未滿ノ小兒ハ晝間十五錢、夜間八錢
- 學生生徒其他ノ団体 三十人以上一割引 五十人以上二割引 百人以上五割引
- 史蹟館 大人十錢、小人五錢、割引ナシ

### 萩市内史蹟名勝案内

萩市は慶長九年輝元公入國以來二百六十有餘年間毛利氏累代の城下として防長二州統治の首腦地なりしが敬親公治を現在の山口市に移されて以來幾變遷を経て今日に至れり。

●交通機關 山陽鐵道に依る場合…厚狹驛にて美禰線に乘換へ萩に至る、▲小部驛下車小那萩間、自動車▲山陰線鐵道に依る場合▲下關驛より直通萩に至る▲山口線鐵道に依る場合▲長門峽驛にて下車天下の奇勝長門峽を探勝し渦ヶ原より萩市まで自動車又は渦ヶ原より高瀬まで自動車、高瀬より扁舟により阿武川下りを爲し史蹟の萩を訪れるも亦趣味深し。(末項行程時間参照)

●萩城趾 指月山の麓に在り元吉見氏の別墅なりしが慶長九年輝元公之を修築せられ五重の天主閣、二十餘の櫓、内濠、外濠等當時要害第一の稱ありしが版籍奉還の魁を爲す爲維新後城廓の悉くを廢毀し僅に城塞の一部を残すのみ。

●志都岐公園 城趾一帶の芝生に點綴する櫻樹は特に春花爛熳の候屈指の遊覽地にして東園は舊藩主の別邸跡なり。

●志都岐山神社 舊城内に在りて縣社なり、明治十二年の創建に係り毛利元就以來の五公を祀る社殿は鬱蒼たる指月山を負ひ、壯麗池塘泉石の美ミ相俟つて萩地有數の勝地たり。

●菊ヶ濱 指月公園の東より鶴江に續く白砂青松の一帶なり遙かに笠山及大小の島々を眺望して其の景頗る佳なり、海水浴場として眞に理想の地なり、背後に當る砂丘一帶は維新前に於ける外敵防禦の臺場跡なり。

●天樹院跡 堀内大下馬に在りて萩地臨濟三院の一なり寛永年間輝元公の菩提所なる爾後三度炎上今は

墳墓のみ存し永へに英魂を留めぬ。

●明倫館趾 享保三年藩主吉元公之を堀内に創建せらる、後敬親公に至り嘉永二年此の地に改築さる其の敷地一萬五千八百八十四坪に涉り規模宏壯を極めたるものなりしが維新後廢頽し就中講堂は舊山口縣會議事堂の築材となり聖廟は曹洞宗海潮寺の本堂に遷され正門は萩別院の本門として遷し今は演武場の一棟と水練池及二基の石碑並に木主を存す現今の萩商業學校明倫小學校及萩區裁判所の敷地これなり。

●本派本願寺別院 西田町に在り眞宗の大伽藍にして元和年中現在の山口市より此の地に移せしもの其の規模雄大輪奐萩市第一の巨刹なり。

●弘法寺 土原の浮島に在り大同年中弘法大師の創建なるに傳ふ空海上人歸朝の際此の島に風浪を避けたりと、境内古松多くして風致佳良又河中より鑛泉湧出す俗に弘法寺溫泉と稱して其名高し浮島辨財天舊振武隊の招魂碑、前原一誠佐世一清の墓碑亦此の境内に在り。

●南園御殿 敬親公の成人されし所にして今尙其の幾部を存し其の當時を偲ばしむ現今の縣立萩高等女學校建物の一部之なり。

●大照院 櫻江に在り南禪寺派臨濟の巨刹なり明曆二年秀就公の塋域と定め爾來毛利氏累代の菩提所となりたる門内頗ぶる森嚴堂宇壯巨なり寺後の山上には末寺嶽の觀音あり國寶赤童子を藏す眺望頗る佳なり。

●涙 松 椿區の内大屋と干法師との間の地點を云ふ往時萩に往來する者萩と別れを惜みし所現今は松なく小碑を建て、昔を偲ぶのみ又吉田松陰先生の詠中の「歸らじと思ひ定めし旅なれば一しほぬる涙松かな」は此の所にて物せられしなり。

●萩 萩焼に二種あり一は高麗焼と稱し窯元は朝鮮人李敬を祖とし代々萩市松本に住し阪高麗左衛門と稱して十世に及ぶ一は古萩と稱し大和國三輪の里源左衛門休雪と云へる者來り創始せるものにして

今は九世雪室に至る共に風流雅致なるを以て名あり其の他泉流焼小畑焼等あり。

●南明寺 椿區の内南明寺山の山腹に在り萩市唯一の天台宗にして大同元年の創建なり國寶聖觀音、千手觀音の二休及大内家の明應、永正時代の制札を藏む眺望絶佳にして萩市を一眸の裡に收め庭前に彼岸櫻あり南明寺の糸櫻と稱して花時參拜者多し。

●松陰神社 椿東區の内松本に在り維新革命の先覺者吉田松陰先生を祀る境内には先生が門弟と共に書を講じつ、踏まれたりと云ふ米春白あり又松下村塾は先生の門弟等を教導せられたる塾舎にして其の當時の様を存す、又社頭の左側に松陰先生の遺物を藏めたる寶物庫あり其の他松陰先生幽囚の宅皆境内に在り。

●花月樓 松本橋東詰に在り故品川子爵の別荘なり。

●東光寺 椿東區の内松本に在り黄蘗宗の禪林にして七堂伽藍悉く備はり壯麗の名刹なりしも今は其の一部を残すのみ本寺は大照院と共に毛利氏累代の菩提所にして吉就公外四公の墓所並に元治甲子殉難士の墓碑あり。

●反射爐 椿東區の内小畑に在り毛利氏軍艦建造の際に於ける器械を鑄造し又軍刀を製作せる藩設工場の一部なり。

●越ヶ濱 菊ヶ濱の對岸笠山半島に連る漁浦にして南に夕風北に嫁泣の良港を控へ風光頗る愛すべし、其の西端に名越屋山あり形によりて笠山と稱する死火山にして頂上に噴火口を存す山中寒熱体の植物に富み展望亦開闊爽快なり、明神池は廣茅三五百餘坪の鹹水池にして海魚群を爲す、元藩主遊樂の地にして所々に風穴あり四時遊覽者多し越ヶ濱に至る途中に海面の一部を剽したる人工水族館あり各種の魚介を飼養し釣魚遊覽に供す。



先賢名士の史蹟 ▲勤王家吉田松陰、高杉晋作、前田孫右衛門、入江九一、周布政之助、楢崎彌八郎、大和國之助、浦靱負、寺島忠三郎、毛利登人、宍戸左馬之介、渡邊藏太、久坂義助、久坂玄機、竹内正兵衛、佐久間佐兵衛、國司信濃、福原元佃、益田右衛門介、清水清太郎、山田宇右衛門、山田亦介、廣澤兵助、杉山松介、來原良藏、松島剛藏、河上彌一郎、中村九郎、時山直八、冷泉五郎、櫻井三木三、香川半助、木戸孝允、伊藤博文、吉田稔麿、松浦松洞、長井雅樂、藤村稻彦、藤村稔彦、福田俠平、前原一誠、奥平謙輔、宮城彦輔、金子重輔、土屋矢之助、寺内暢藏、青木周弼、青木研藏、近藤芳樹、中島治平、玉木文之進、杉民治、杉孫七郎、御堀耕助、鳥尾小彌太、榊取素彦、松本鼎、中村雪樹、山口素臣、岡市之助、岡澤精、有地品之允、林友幸、▲政治家益田元祥、榎本就時、毛利廣政、桂廣保、坂時存、村田清風、山田顯義、品川彌二郎、宍戸磯、曾根荒助、野村靖、白根專一、青木周藏、桂太郎、三浦梧樓、柴田家門、山縣伊三郎、田中義一、▲學者山田原欽、小倉尙齋、山縣周南、和知東郊、瀧鶴台、林東溟、津田東陽、山根華陽、小倉鹿門、繁澤豊城、山根南溟、小田村藍田、中村華嶽、山縣大華、平田浩溪、中村牛莊、小倉遜齋、飯田履軒、中村浩堂、岡本栖雲、岡田謙道、岡村箕齋、口羽通倚、▲書家草場居敬、草場大麓、山縣墨儔、高島醉茗、▲畫家雲谷等顔、雲谷等益、雲谷等瑤、雲谷等爾、佐々木縮往、山本鶴江、林百非、羽様西崖、森寛齋、高島北海、▲實業家藤田傳三郎、賀田金三郎。

秋附近の名勝地 北に須佐灣東に長門峽南に秋芳洞西に青海島等の名勝地及天然記念物を存す何れも汽車又は自動車の便あり。

旅館の案内 市内の旅館は一等から三等までとし旅館組合で宿泊料も左の通り協定しあり

一等	五圓	四圓	三圓
二等	三圓	二圓五十錢	二圓

三等	二圓五十錢	二圓	一圓五十錢
普通団体	二圓	一圓五十錢	一圓二十錢
學生	小學生 七圓	中學生 十圓	青年團 二十圓
			中食辨當付

自動車案内

○定期乗合自動車 (間断なく運轉各列車に接續)

イ、秋驛越ヶ濱線 六區 一區五錢 三十錢

ロ、玉江驛松本線 四區 一區五錢 二十錢

此の外四月には東田町、指月公園間に花見用、七八月には東田町菊ヶ濱間に海水浴場行臨時「バス」運轉す

○遊覧バス一人一巡賃金一圓以内 団体には割引あり

六人乗一臺 (二時間以内) 賃金三圓 (三時間以上) 賃金四圓

三人乗一臺 (三時間以内) 賃金二圓 (三時間以上) 賃金三圓

六圓 (団体) 對しては割引あり

○史蹟巡り貸切自動車 大型十人乗一臺 (三時間以内) 賃金六圓 (三時間以上) 賃金八圓

行程所要時間 ▲山陽本線より萩市に來るもの ▲厚狹驛より萩驛まで二時二十二分間 ▲小郡驛より自動車にて萩市まで二時間(壹圓五十錢) ▲山陰本線にて萩市に來るもの ▲下關驛より萩驛まで三時三十分間 ▲石見益田より萩驛まで一時三十分間 ▲山口驛萩市間省營自動車にて萩市まで二時間(壹圓四十錢) ▲長門峽を経て萩市に來るもの ▲長門峽渦ヶ原より長門峽自動車にて萩市まで二時間(壹圓五十錢) ▲長門峽渦ヶ原より高瀬行自動車にて高瀬まで二十分間(五拾錢) ▲高瀬より川舟にて川上村筏場まで一時間(舟一艘參圓) 高瀬より川舟にて萩市まで三時間半(舟一艘五圓) ▲筏場より自動車にて萩市まで二十分間(六拾錢) ▲萩市より秋芳洞及青海島に至るもの ▲萩市より自動車にて秋芳洞まで一時二十分間(壹圓五十錢) ▲萩市より汽車にて美禰線吉則驛まで一時五十八分間、吉則より自動車にて秋芳洞まで四十五分間(壹圓) ▲萩市より汽車にて正明市驛まで五十分間正明市驛より自動車か又はガソリンカーにて仙崎町まで十分間(拾錢)

ドーコレ



ウトツニ

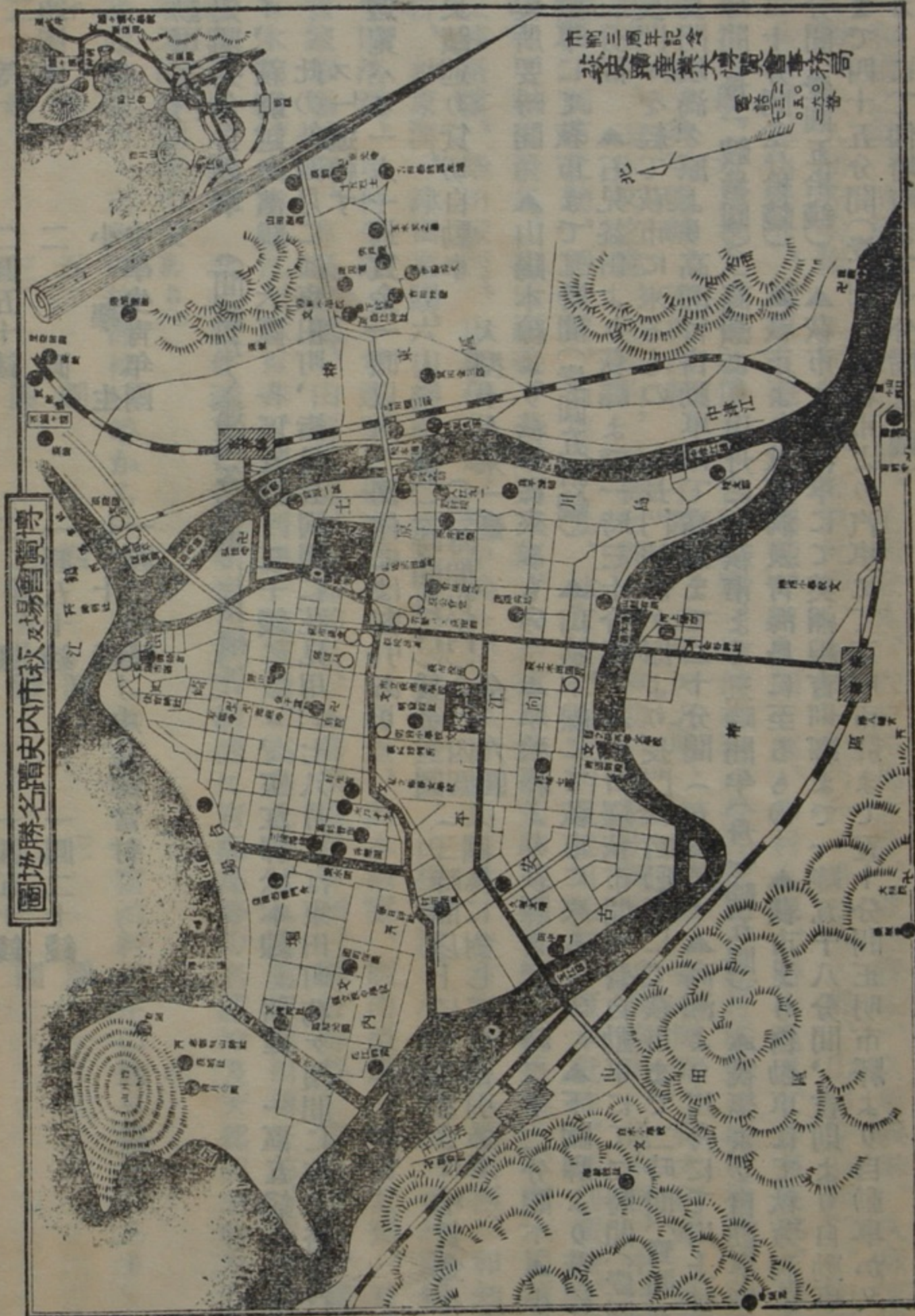
- 巴城券番募集當選  
萩小唄A面夢の萩街 林伊佐緒
- 一 夢の萩街  
沖のかもめに  
銅羅はなるく  
満洲航路の  
アノ船が出る。
  - 二 花が咲くく  
ホト浮べて  
影もおぼろの  
戀のぼんぼり  
アノ灯がうるむ。
  - 三 君さひと、き  
そぞろあるげば  
偲ぶ御維新  
一に三つ星  
アノ紋ごころ。
  - 四 省略
  - 五 省略

萩小唄専賣店

有治蓄音器店

- 巴城券番募集當選  
萩小唄B面春は櫻 美千奴
- 一 ハアー 春は櫻の ヨイヤサ  
偲ぶ二の丸三の丸  
日傘繪日傘くるくみ  
いとしあの娘のあて姿  
エーくるくみ
  - 二 ハアー 軒に提灯 ヨイヤサ  
こよひ春日の宵祭  
遠ばやし  
燃ゆる想ひをお神隠に  
エーお神隠に  
引いて恥かし鹿の子帯
  - 三 ハアー むかし名残の ヨイヤサ  
更けて千鳥を菊ヶ濱  
お臺場に  
夏は涼風白砂の  
エー白砂の  
渚に寄せる人の波
  - 四 ハアー 萩の新堀 ヨイヤサ  
橋ごころ  
ごこへ懸けよか戀の橋  
濡れて逢ひたや新川で  
エー新川で  
煙る鶴江は時雨ぞら

萩小唄専賣店 スズラン 樂器店



1900

祝萩史蹟産業大博覽會



小原吳服店

電話五十七番

TRC102093

06  
3  
[Red circular stamp]

萩市立図書館



111355103